

宇都宮市立国本中央小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
<p>・主体的な学びを実現できるようにする。</p>	<p>・学習課題を児童と共有できるよう明確に示し、児童が学習内容の見通しをもてるようにする。課題にじっくり取り組ませながら個別に支援をしていき、授業の終末では、学んだことを簡潔にまとめて振り返れるようにし、学習意欲を持続できるようにする。</p>	<p>・「進んで学習に取り組んでいる」という肯定回答割合は95.0%で学習課題を児童と教師が共有し、学習の見通しをもって学習に取り組むことができた。学習の振り返りでは、振り返りの場の設定がされ、児童は記述に慣れてきているが、振り返る内容の個人差が見られるので、今後も取り組みを継続していく必要がある。</p>
<p>・昨年度末の学校休業に伴う未履修の学習内容を含め、基礎基本の確実な定着を目指す。</p>	<p>・単元や学期ごとにパワーアップシートなどの問題を実施し、学習のまとめを充実させることで、身に付けるべき基礎的・基本的な知識や技能を養うようにする。</p>	<p>・宇都宮市学習内容定着度調査の知識・技能の正答率は、国語が66.8%で市の平均より5.2ポイント低かったものの、算数ではプラス0.1ポイント、社会ではマイナス1.1ポイント、理科では、マイナス1.3ポイントと市の平均と同程度であり、基礎的・基本的な知識や技能の定着は図れていると考えられる。</p>

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

- ・今年度行われた学習内容定着度調査の結果では、基礎的・基本的な知識や技能の習得において、市の平均と本校の児童では大きな開きは見られなかった。活用問題においては、考えを自分の言葉でまとめることを苦手としている児童が見られるので、算数や社会、理科の学習では、図やグラフ等の読み取りだけでなく、資料の結果から自分の考えをもち、表現できるようにしていく。
- ・漢字の読みや書き取りに関わる言語の分野に課題が見られた。朝の学習等を活用して、漢字の読みや書き取りに親しむ時間を設け、言語の分野の力を伸ばせるようにしていく。